

「青木ヶ原樹海エリアのブランド化推進事業」委託業務
提案書評価基準

1 評価基準

- (1) 出席した審査委員（以下、「審査委員」という。）は、下表の評価項目についてはA～E（1点～5点）の5段階で評価する。
- (2) 評価の考え方は、別紙「評価の視点」とおとりとする。なお、提案書に評価項目に該当する記載が無い場合は1点とする。
- (3) 最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、同位の提案が複数ある場合は審査委員の多数決により順位を決定する。
- (4) 項目ごとの評価で過半数の「1」があった場合は、受託候補者としての特定は行わないものとする。
（「特記すべき提案」項目は除く）

2 評価項目

| 評価項目及び着目点 | | 配点 | 加重倍率 | 評価点 |
|--------------|---|----|------|----------|
| 1 業務遂行能力 | | | | 15 (小計) |
| (1) 類似事業の実績 | 本業務を実施する上で十分な事業者規模、実績があり、本業務を遂行できる能力を有しているか | 5 | ×1 | 5 |
| (2) 業務実施体制 | 本業務の背景や目的を理解し、事業を円滑に進める適切な人員体制が組まれているか | 5 | ×1 | 5 |
| (3) 実施スケジュール | 実施スケジュールは妥当か | 5 | ×1 | 5 |
| 2 提案内容 | | | | 70 (小計) |
| (1) 業務目的の理解度 | 本事業の目的・必要性を十分に理解した上での、本委託業務の目的（樹海のブランド化）に合致した提案になっているか【仕様書4】 | 5 | ×2 | 10 |
| (2) 業務目的の実現性 | 多様なステークホルダー（特に宿泊事業者）との連携が図られ、英米豪をターゲットとした観光コンテンツ・モデルツアーの磨き上げ・商品化に向けたプロセスが妥当か【仕様書4（1）】 | 5 | ×2 | 10 |
| | 先進地の視察結果（視察地がなぜ人気を有し、持続的な誘客を可能としているのか）を効果的に事業へ反映する方法が明確であるか【仕様書4（1）】 | 5 | ×2 | 10 |
| | 「インバウンド視点、サステナブル視点、販売プロモーション視点」に基づく専門性の高い講師が提案され、座学だけでなく現地実習を取り入れた効果的な内容となっているか【4（1）】 | 5 | ×1 | 5 |
| | 青木ヶ原樹海の魅力向上や観光資源としての活用促進が期待できるイベント内容が検討されているか。また、当該エリアの観光消費拡大に繋がる提案となっているか【4（2）】 | 5 | ×2 | 10 |
| | 首都圏在住外国人対象のモニターツアーについて、集客方法から実施内容、アンケート等を通じたフィードバックの仕組みまで、計画内容が妥当であるか【4（2）】 | 5 | ×1 | 5 |
| | 海外販路開拓（ネットワーキングイベント、海外OTA掲載等）や海外向け広報（多言語タリフ、宣材冊子）の提案が、ターゲットに効果的に訴求し、具体的な販売促進に繋がる内容となっているか【4（3）】 | 5 | ×2 | 10 |
| | 設定されたKPI（コンテンツ/ツアーの磨き上げ数や販売数など）を達成するための道筋が明確で、実現性が高いか【4（6）】 | 5 | ×2 | 10 |
| 3 価格点 | | 5 | | 5 (小計) |
| 見積価格 | 積算の根拠や委託費の総額は妥当か。 | 5 | ×1 | 5 |
| 4 その他 | | 5 | | 10 (小計) |
| 特記すべき提案 | その他、目的実現のための独自提案等、特記すべき提案があるか | 5 | ×2 | 10 |
| 計 | | | | 100 (合計) |

評価の視点

| 評価項目 | 評価の着目点 | | 評価 | | | | | 加重倍率 | 評価点(100点) |
|---|--------------|---|--|--|--|---------------------------------|------------------------|------|-----------|
| | | | A 5 | B 4 | C 3 | D 2 | E 1 | | |
| 業務遂行能力 | (1) 類似事業の実績等 | 本業務を実施する上で十分な事業者規模、実績があり、本業務を遂行できる能力を有しているか | 本事業と関連のある類似業務実績が5件以上ある | 本事業と関連のある類似業務実績が2~4件ある | 本事業と関連のある類似業務実績が1件ある | 類似業務実績があるが、本事業とは関連が薄いものに限る | 類似業務実績が無い | ×1 | 5 |
| | (2) 業務実施体制 | 本業務の背景や目的を理解し、事業を円滑に進める適切な人員体制が組まれているか | 特に優れており、万全の体制が組まれている | 優れており、標準以上の体制が組まれている | 妥当な体制である | 十分とは言えないが、本業務の実施はできる | 不安があり、本業務の実施が難しい | ×1 | 5 |
| | (3) 実施スケジュール | 実施スケジュールは妥当か | 十分検討されており高く評価できる | 検討されており評価できる | 検討されており妥当である | スケジュールに不安がある | スケジュールが整っていない | ×1 | 5 |
| 提案内容 | (1) 業務目的の理解度 | 本事業の目的・必要性を十分に理解した上での、本委託業務の目的（樹海のブランド化）に合致した提案になっているか【仕様書4】 | 特に優れている | 優れている | 標準的である | やや不十分 | 不十分 | ×2 | 10 |
| | (2) 業務目的の実現性 | 多様なステークホルダー（特に宿泊事業者）との連携が図られ、英米豪をターゲットとした観光コンテンツ・モデルツアーの磨き上げ・商品化に向けたプロセスが妥当か【仕様書4（1）】 | 宿泊事業者との連携が提案されている。また、コンテンツ等の磨き上げ・商品化に向けたプロセスも妥当であり、高く評価できる | 宿泊事業者との連携が提案されている。また、コンテンツ等の磨き上げ・商品化に向けたプロセスも妥当であり、評価できる | 宿泊事業者との連携が提案されている。また、コンテンツ等の磨き上げ・商品化に向けたプロセスも妥当である | 検討が不十分であり妥当ではない | まったく検討されておらず妥当ではない | ×2 | 10 |
| | | 先進地の視察結果（視察地がなぜ人気を有し、持続的な誘客を可能としているのか）を効果的に事業へ反映する方法が明確であるか【仕様書4（1）】 | 先進地の視察結果を効果的に事業へ反映する方法が明確であり、高い実現可能性が期待できる | 先進地の視察結果を効果的に事業へ反映する方法がある程度明確であり、実現可能性が期待できる | 先進地の視察結果を効果的に事業へ反映する方法がある程度明確である | 先進地の視察結果を効果的に事業へ反映する方法があまり明確でない | まったく明確でない | ×2 | 10 |
| | | 「インバウンド視点、サステナブル視点、販売プロモーション視点」に基づく専門性の高い講師が提案され、座学だけでなく現地実習を取り入れた効果的な内容となっているか【4（1）】 | 十分検討されており高く評価できる | 検討されており評価できる | 検討されており妥当である | 検討が不十分であり妥当ではない | まったく検討されておらず妥当ではない | ×1 | 5 |
| | | 青木ヶ原樹海の魅力向上や観光資源としての活用促進が期待できるイベント内容が検討されているか。また、当該エリアの観光消費拡大に繋がる提案となっているか【4（2）】 | 十分検討されており高く評価できる | 検討されており評価できる | 検討されており妥当である | 検討が不十分であり妥当ではない | まったく検討されておらず妥当ではない | ×2 | 10 |
| | | 首都圏在住外国人対象のモニターツアーについて、集客方法から実施内容、アンケート等を通じたフィードバックの仕組みまで、計画内容が妥当であるか【4（2）】 | 十分検討されており高く評価できる | 検討されており評価できる | 検討されており妥当である | 検討が不十分であり妥当ではない | まったく検討されておらず妥当ではない | ×1 | 5 |
| | | 海外販路開拓（ネットワーキングイベント、海外OTA掲載等）や海外向け広報（多言語タリフ、宣材冊子）の提案が、ターゲットに効果的に訴求し、具体的な販売促進に繋がる内容となっているか【4（3）】 | 十分検討されており高く評価できる | 検討されており評価できる | 検討されており妥当である | 検討が不十分であり妥当ではない | まったく検討されておらず妥当ではない | ×2 | 10 |
| 設定されたKPI（コンテンツ/ツアーの磨き上げ数や販売数など）を達成するための道筋が明確で、実現性が高いか【4（6）】 | 特に優れている | 優れている | 標準的である | やや不十分 | 不十分 | ×2 | 10 | | |
| 価格点 | 見積価格 | 積算の根拠や委託費の総額は妥当か。 | 積算が細分化され、根拠も明確であり、高く評価できる | 根拠は明確であり、評価できる | 妥当である | 根拠が曖昧である | 根拠が著しく曖昧であり、事業遂行に不安がある | ×1 | 5 |
| その他 | 特記すべき提案 | その他、目的実現のための独自提案等、特記すべき提案があるか | 本事業の目的に沿った独自提案が複数あり、実現可能性が高く評価できる | 本事業の目的に沿った独自提案があり、実現可能性が高く評価できる | 本事業の目的に沿った独自提案はあるが、実現可能性は不明瞭 | 独自提案はあるが、本事業の目的に沿ったものではない | 独自提案はない | ×2 | 10 |